あなたの未来を強くする
住友生命

NEWS RELEASE

2025年6月16日
住友生命保険相互会社

～株式会社ユーフォリアとの業務提携～

暑熱環境下で働く作業員の熱中症対策に特化した熱中症対策プログラムの紹介業務を開始

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、株式会社ユーフォリア（代表取締役 Co-CEO 橋口 寛・宮田 誠、以下「ユーフォリア」）が提供する、**建設現場など暑熱環境下で働く作業員の熱中症対策に特化した「ONE TAP SPORTS for Biz 熱中症対策プログラム（以下、「本プログラム」）」※1を6月16日より住友生命の顧客企業へ紹介するサービスを開始します。**

本プログラムでは、特別なセンサーやウエアラブルデバイスを装着することなく、熱中症リスクをスクリーニングし、早期発見と予防につなげることが可能です。

住友生命はユーフォリアに対し、人々の健康増進に資するサービス開発への事業共創を目的に、2025年3月にCVCファンド「SUMISEI INNOVATION FUND」から出資※2しました。

住友生命は、Vitality健康プログラムと親和性が高い本プログラムの紹介業務を通じて、「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」により一層貢献したいと考えています。

※1 詳細は右記URLをご参照ください https://eu-phoria.jp/service/wellness/heatstroke-prevention
※2 詳細は右記URLをご参照ください https://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2024/250306.pdf

1．本プログラム紹介業務開始の背景

住友生命は、「住友生命グループVision2030」において、2030年のありたい姿を「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」と定め、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”やWaaS(Well-being as a Service)※3を通じて、保険の枠を超えた価値提供に取り組んでいます。

近年、就業中の熱中症による死傷災害が増加傾向にあることなどを受け、6月1日より企業の熱中症対策を義務化する改正労働安全衛生規則が施行されました。

熱中症の多くは初期症状の放置や対応の遅れが原因と言われています。何よりも大切な人命を守るため、熱中症リスクのある就業環境を持つ企業は対策を講じる必要があります。

4月に住友生命が公表した「熱中症白書」※4によると、熱中症は5月頃から発生し、暑さが厳しい7～8月の発生率が最も高く、9月以降は減少します。熱中症対策が義務化され、暑い夏を迎えるこれからの時期、企業の熱中症対策が重要です。

住友生命は、本プログラムの紹介業務を通じて、企業の熱中症対策、安心・安全な労務環境の構築をサポートします。

※3 Vitality健康プログラムを中心とするウェルビーイングに資するサービスエコシステムのことです。
※4 詳細は下記URLをご参照ください
https://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/initiatives/stakeholder/open_innovation/

２．本プログラムの概要

本プログラムは、ユーフォリアが長年培ってきたトップアスリートのコンディショニングノウハウとスポーツ科学の知見を活用したものです。

従業員は特別なセンサーやウエアラブルデバイスを装着することなく、出勤時・休憩前・退勤時の１日３回程度の体重測定を行うだけで脱水状態を検知し、建設現場など高温環境下での熱中症リスクの予防が可能です。

また、収集されたデータを元に、Google の生成 AI「Gemini」が、個々の作業者に対して必要な水分摂取量や、熱中症を予防するための具体的なアドバイスを行います。この他、現場の暑熱対策と予防を実現するための熱中症対策セミナーの提供も行います。

＜プログラムイメージと管理者用ダッシュボード画面サンプル＞



ａ．機能・サービス

（１）熱中症対策セミナー

熱中症メカニズムの理解促進、熱中症予防のためのコンディション管理法、正しい対処法などを学ぶことができます。

（２）コンディション管理アプリ ONE TAP SPORTS

トップアスリートも利用するコンディション管理アプリ「ONE TAP SPORTS」に睡眠時間や体調など毎朝入力します。

（３）体重減少率から脱水状態を検知

毎日３回職場で計測する体重も「ONE TAP SPORTS」に記録し、脱水状態を計測します。熱中症リスクを早期に検知し、「従業員自身での予防」と「管理者の状況把握」が可能です。

（４）管理者用ダッシュボードで従業員の脱水状態を確認

管理者向けのダッシュボードでは、体重減少率などをリアルタイムで確認でき、熱中症リスクが高いと判断された場合、アラート情報を表示します。必要に応じて、従業員に休憩指示や水分補給の推奨などの具体的な対策を促すことが可能となります。

（５）生成 AI によるアドバイス

タブレットへの体調データ入力や気象情報などを基に、Google の生成 AI「Gemini」が、個々の作業者に対して必要な水分摂取量や、熱中症を予防するための具体的なアドバイス（休憩のタイミング、塩分補給の目安など）をリアルタイムに近い形で提供します。これにより、一人ひとりの状態に合わせたパーソナライズされた熱中症予防策を講じることが可能になります。

３．Vitality 健康プログラムを通じた住友生命の貢献

「熱中症白書」によると、熱中症予防には、良質な睡眠の確保や夜遅くの夕食を避けるなど、健康的な生活を送ることが重要とされています。また、継続的な歩行などの運動習慣は、身体をよい状態に保つためのコンディショニングでもあり、熱中症の重症化を防ぐ効果を持つ可能性が示されています。

「熱中症白書」の結果は、“住友生命「Vitality」”を通じた健康増進・予防への取組みが、熱中症予防に資することを示唆するものです。

住友生命では 2024 年６月 25 日から、「Vitality 福利厚生タイプ」※5 を発売し、2,800 団体以上に導入いただいております。今後は本プログラムと組み合わせることで、幅広く熱中症に備えることが可能となります。

※５ 詳細は下記 URL をご参照ください。
https://www.sumitomolife.co.jp/corporative/non-insurance/vitality-benefit/

■ユーフォリアの概要

会　　社　　名：株式会社ユーフォリア
設　　　　立：2008 年８月
代　　表　　者：代表取締役 Co-CEO 橋口　寛・宮田　誠
本 社 所 在 地：東京都千代田区麹町４－８―１　麹町クリスタルシティ東館 10 階
事　業　内　容：スポーツ領域におけるＩＴソリューション提供（コンディショニング管理・各種データベース開発・コンサルティング）、スポーツマーケティング（戦略構築・商品企画・実行支援）、スポーツデータサイエンス、健康経営支援事業
ホームページ：https://eu-phoria.jp/

以上